

# 平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 医療整備課  
 担当名: 総務・医療企画担当  
 内線: 3545

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B24	在宅医療体制強化事業費			一般会計	衛生費	医薬費	医療費	地域医療連携推進事業費	
事業期間	平成25年度～	根拠法令				戦略項目	03	医療の安心	
						分野施策	010302	地域医療体制の充実	
<p>1 事業の概要                      在宅医療を提供する体制を整備し、在宅医療のネットワーク化を図る。</p> <p>地域医療介護総合確保基金創設による財源更正</p> <p>国庫補助金 1,637千円                      基金繰入金 1,637千円</p>				<p>5 事業説明                      (1) 事業内容                      ア 在宅医療体制強化事業費 8,941千円                      (ア) 在宅医療連携構築のための基盤整備事業                      保健所が中心となって管轄区域の在宅医療を推進するため、保健所ごとに医療・介護の連携会議(在宅医療部会)を運営し、先行事例の情報提供などを行い、在宅医療の取組みを広めていく。                      (イ) 在宅医療専門部会運営事業                      医療対策協議会の在宅医療部会を開催し、在宅医療に係る今後の事業のあり方を検討する。                      (ウ) 人材育成事業                      在宅医療研修、訪問診療導入研修、訪問診療同行研修、病院関係者に対する在宅医療研修を実施する。                      イ 在宅医療推進市町村支援事業費 44,463千円                      在宅医療と介護の連携に関して、市町村が主体となって地域の医師会等と連携しながら取り組む事業を支援する。(具体的には、次の3つの柱を中心に進める。)                      (ア)「顔の見える関係」作りとして、医療・介護関係者による協議会の開催                      (イ) 情報共有のシステム化により、医療・介護関係機関の連携を促進                      (ウ) 在宅医療に関する人材育成、普及啓発</p> <p>(2) 事業計画                      ア 平成25年度: 在宅医療・介護連携実態調査、連携ガイド作成、医療・介護連携会議、専門部会の設置                      イ 平成26年度: 連携ガイドの電子化、医療・介護連携会議、専門部会の運営(施策の検討)                      ウ 平成27年度: 制度改正に対応しつつ、2025年に向けた施策の実施</p> <p>(3) 事業効果                      機能の充実により急性期病院等の在院日数の減 急性期病院等の救急患者受入れ拡大</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分                      (県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況                      なし</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員                      9,500千円×2人=19,000千円</p>				<p>(5) 補正予算の概要                      ア 内容 財源更正                      イ 事業 (1) 在宅医療体制強化事業費 8,941千円 ウ 人材育成事業(4,887千円)                      ウ 金額 国庫補助金 1,637千円 基金繰入金 1,637千円</p>					
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	繰入金						
決定額		1,637	1,637					53,404	
現計額	53,404	1,637	47,713				4,054		